

# 石山市民センターだより

令和8年2月1日号



発行：石山市民センター 〒520-0861 大津市石山寺三丁目 15-15

Tel 537-0001 Fax 537-2861

世帯数 4,964 世帯 人口 10,019 人 (1月1日現在)

先月比 +11 世帯 +31 人



## 2月の行事予定



日(曜日)	事業名	開催時間	活動場所
1日(日)	韓国料理教室(①本格韓国キムチ作り) 定員になりました	10:00~12:00	石山市民センター
15日(日)	韓国料理教室(②韓国料理) 若干名空きがあります	10:00~13:00	石山市民センター
15日(日)	福祉講座	10:00~11:30	石山市民センター
20日(金)	自治連合会代表者会議	19:00~	石山市民センター
21日(土)	おもちゃライブラリー ぴよぴよ	10:00~11:30	石山市民センター
22日(日)	石山わくわくひろば(子ども食堂&フードパントリー)	10:00~15:00	石山市民センター
26日(木)	子育てひろば「みんなであそぼー」	10:00~11:30	石山市民センター
毎週(水)	石山っ子ワクワク親子で畑体験隊	15:30~17:00	滋賀大学農場
毎週(金)	たら川文庫	14:00~16:30	石山市民センター

### 令和8年度「石山っ子ワクワク親子で畑体験隊」参加親子募集のお知らせ

滋賀大学教育学部が中心となり、石山公民館、地域ボランティアの方々の協力のもと体験活動を行っています。

【体験期間】令和8年4月~令和9年3月 <4月8日(水)開校予定>

【参加資格】石山小学校及び大津市内に在住する小学校の児童とその保護者

【募集人数】30名程度(10家族程度) <年間を通して保護者と児童が参加できる家族>

【体験内容】野菜、米、草花の栽培、観察、収穫。栽培作物の加工や試食。蚕の飼育等。

【体験日時】毎週水曜日 15時15分集合 15時30分開始 約2時間

★夏休み、冬休み、祝日の活動はありません。★上記の他、畑の水やり当番等があります。

【体験費用】年間一人500円(材料費等) \*開校式当日に徴収します。

【体験場所】滋賀大学教育学部農場敷地内(約40㎡) 【実施指導】滋賀大学教育学部スタッフ、地域ボランティア

【申し込み・問い合わせ】石山公民館 Tel537-0001

締め切りは、2月27日(金) 定員になり次第募集を締め切らせていただきます。(先着順)



### 福祉講座のお知らせ

声を出すことはエネルギーの源と言われています。奮ってご参加ください。

【日 時】2月15日(日) 10:00~11:30

【場 所】石山市民センター 3階 大会議室

【内 容】音楽療法士による講座「楽しく歌って明日も元気!」【講 師】尾木八重子 氏(音楽療法士)

\*申し込みは要りません。

〈主催:石山学区社会福祉協議会〉

## 2月のごみ収集カレンダー

大型ごみの戸別有料収集は、2/5（木）、2/13（金）、2/20（金）  
電話またはインターネットによる予約制です  
ごみコールセンター（TEL 528-2761）

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	かん かん	燃 燃やせるごみ	不燃 燃やせないごみ	プラ プラ容器包装	燃 燃やせるごみ	
8	9	10	11(建国記念の日)	12	13	14
	PET ペットボトル	燃 燃やせるごみ	紙 紙ごみ	プラ プラ容器包装	燃 燃やせるごみ	
15	16	17	18	19	20	21
	かん かん	燃 燃やせるごみ	びん びん	プラ プラ容器包装	燃 燃やせるごみ	
22	23(天皇誕生日)	24	25	26	27	28
	PET ペットボトル	燃 燃やせるごみ	紙 紙ごみ	プラ プラ容器包装	燃 燃やせるごみ	

### 市民税・県民税の申告受付

市民税課職員による申告受付です。

【日 時】2月3日(火)13:00～16:00  
【場 所】石山市民センター 2階 第2・3会議室  
【持ち物】筆記用具・①②のいずれか  
①マイナンバーカード  
②通知カード+運転免許証、住民基本台帳カード  
など本人確認書類  
【問い合わせ】市民税課 Tel 528-2721  
528-2722

### 子ども食堂&フードパントリー

#### 石山わくわくひろば

【日 時】2月22日(日)10:00～15:00  
【場 所】石山市民センター  
【対 象】どなたでもご自由にご参加ください。  
【参加費】子ども[無料]高校・大学生[100円]おとな[300円]  
主催:NPO 法人大津市里親会  
【問い合わせ】奥田(080-9125-5995)または  
石山公民館(537-0001)まで



### たら川文庫 の本棚から

今年は午年です。小学校3年の国語の教科書にもものっているモンゴル民話です。

『スーホの白い馬』（モンゴル民話 大塚勇三／再話・赤羽末吉／画 福音館書店）

広い草原にはひつじかいの少年スーホがいました。スーホは草原でたおれていた生まれたばかりの白馬を助け、大切に育てます。ある年の春、白馬はとのさまが開いたけいばの大会で一等になりますが、とのさまはスーホから白馬を取り上げてしまいます。白馬はとのさまを蹴落とし、傷つきながらスーホのもとに帰ったあととんでしまいます。スーホは白馬が夢で教えてくれた楽器「馬頭琴」を作り、その美しい音を草原中に広め人々の一日の疲れを忘れさせてくれました。



文責 青少年育成学区民会議 清水 明美

毎週金曜日 14:00～16:30 開室（青少年育成学区民会議主催）

